
女性と健康

山口 雅子 教授
齋藤 真希 講師
森下 智美 非常勤講師

2年次後期・選択

2単位・30時間

【概要・目標】

広く女性の健康を守るために必要な基礎知識と支援を考える力を養う。

授業は、講義で基本的知識を説明した後に、演習（ディスカッション等）で学生が主体的に学習する構成で行う。

1. 生命に関する倫理観や看護観、共感的態度を養う。
2. 母性看護の実践に必要な概念・理論・施策を理解する。
3. 母子保健の動向について学ぶ。
4. リプロダクティブヘルス・ライツについて学ぶ。
5. セクシュアリティについて理解する。
6. 女性のライフステージに伴う女性特有の健康問題について理解する。

【授業内容のスケジュール】

- 1) オリエンテーション. 母性看護実践を支える概念(ヘルスプロモーション、エンパワーメント、ウェルネス)と理論(母子相互作用、愛着形成、母親役割)
- 2) 女性の理解や看護に必要な社会背景
- 3) 周産期に関わる生命倫理(高度生殖補助医療・出生前診断・死)と対象者への看護
- 4) 性の多様性
- 5) 性の多様性
- 6) マタニティサイクルにおける母子の健康
- 7) 演習
- 8) 演習
- 9) 演習
- 10) 演習
- 11) 社会的養護 乳児院の役割 乳児院看護部長
- 12) 女性のライフステージ特有の健康問題と看護
- 13) 演習
- 14) 演習
- 15) 演習

【評価】

筆記試験(80%)、授業への参加態度(20%)

【教科書】

渡邊浩子他著「母性看護学概論/ウイメンズヘルスと看護」メヂカルフレンド社

【推薦参考図書】

適宜紹介する。